



●ガンマ波サウンド

テレビやラジオなどの日常の音を40Hzガンマ波に変調する技術、または変調した音。40Hzガンマ波による脳の刺激は認知症のケアに役立つという研究結果が出ている。

質問 今後のコロナワクチン接種に対する本市の考え方は。
答弁 予防接種については、実施の有無や使用するワクチン等について、今後も国の方針に沿って実施していく。
 新型コロナウイルス感染症は、令和6年4月に予防接種法上のB類疾病に位置付けられ、自らの意思と責任で受けることとなったため、本市としては、引き続き、接種を希望する人が適切に接種できる体制を整え、接種を判断するための情報提供に努めていく。
質問 令和6年度は農産物加工品等のPRを台湾で行ったが、海外への販売経路の開拓について、今後の取り組みは。
答弁 本市の農産物加工品は、現地において、台湾料理とよく合うなどといった意見が多かった。現地と構築できた関係性を生かし、農産物の輸出に向けて、さらなる研究を進めていきたいと考えている。

質問 市有施設における温室効果ガス排出量の現状は。
答弁 平成25年度から令和3年度までは順調に減少し、24年度は増加傾向となっている。理由としては、廃棄物の焼却に当たり廃プラスチックの割合が増加したことで、焼却量自体は減少しているが、温室効果ガス排出量が増える結果となったことなどがある。
質問 教育施設や市営住宅の断熱化の現状と今後の方針は。
答弁 学校・公民館等については、断熱化が一般的でなかった年代に整備した施設には施されていないのが現状であり、今後施設の増改築を行う場合には断熱化を併せた改修計画を検討する。また、市営住宅についても高経年の住宅の断熱が十分でない現状にあるため、長寿命化と併せ、国の施策や他市の状況等を注視しながら研究していきたい。

質問 気候変動により、予測のつかない降雨災害が頻発しているが、今後の雨水対策は。
答弁 水路の整備、改修をはじめ、道路側溝のしゅんせつ、雨水の流出抑制施設の整備など、地域の実情や現地の地形等を踏まえ効果的な対策を実施していく。緊急性の高い所から順次対策を進め、農業用水を管理する水利組合や雨水幹線を所管する関係部局などとも連携しながら、浸水被害の軽減に努めていく。
質問 認知症予防や認知機能の改善の可能性が注目されているガンマ波サウンドを活用する考えは。
答弁 認知症の疑いのある人や初期症状の人に対して、本市でもさまざまな認知症予防の取り組みを行っている。ガンマ波サウンドも含め、他の効果的な手法や他市の事例等も参考としながら、引き続き研究していきたい。

質問 堤ヶ岡飛行場跡地の活用に向けた調整の進捗状況は。
答弁 農林調整においては、開発の前提となる市街化区域の編入に向けて、特定保留地区の設定を目指しており、関係機関と協議を進めていく予定である。また、雨量計算に基づく調整池検討書を作成し、治水協議も進めている。
質問 11月に実施した県知事との海外視察で得た成果は。
答弁 今回の視察では、ハンガリーのブダペストとフランスのパリに県知事と共に市長自ら訪問した。多くのスタートアップ企業と本質的な意見交換を行い、継続した協議を行う下地を整えることができたことは、市長が自ら訪問した大きな成果の一つと考えている。また、実際の資金調達や開発手法にまで踏み込んだ議論ができたことは、堤ヶ岡飛行場跡地の活用に役立てることができると考えている。



丸山 健 (公明党)



三井 暢秀 (市民クラブ)



時田 裕之 (新風会)



横田 卓也 (市民クラブ)

危険な空き家の対策

質問 本市の空き家緊急総合対策事業を活用した、危険な空き家の対応と解体戸数は。

答弁 所有者や相続人に対して適正管理を依頼する通知を直近では令和3年度127件、4年度147件、5年度182件送付している。平成26年度の事業創設以来、約1200戸の空き家が解体された。

質問 空家等対策の推進に関する特別措置法の改正内容と本市施策への影響は。

答弁 令和5年12月に施行された改正法では、放置すると危険な状態となる恐れのある空き家を管理不全空き家に認定することで、土地の固定資産税に係る住宅用地特例の解除が行えることなどが盛り込まれた。本市では、空き家緊急総合対策事業を軸に取り組んでいるが、法改正で盛り込まれた内容についても、その効果や他市の動向を見極めながら研究したいと考えている。

質問 本市における公共施設の数とLED化の進捗状況は。

答弁 建築基準法が定める12条点検の対象施設の数、庁舎や学校施設などの計325施設、714棟となっている。各施設はそれぞれ所管部署が管理しており、全体の進捗は把握していないが、各所管においてLED化に向けた検討や一部改修等を実施している。

質問 LED化における財政的な問題への対策は。また、一括発注や効果的な施工によりコスト削減を図る考えは。

答弁 小・中学校や公営住宅等のLED化に対して国の補助金があるほか、脱炭素化を図るための有利な起債を活用できる。これらの財政措置がなくなった場合、多額の財政負担が必要となるため、財政負担が集中しないよう考慮しながら、コスト削減や効果的な施工が行えるよう、発注方法等も含めて研究したい。

質問 国家公務員等の旅費に関する法律が改正されるが、出張旅費に係る本市の対応は。

答弁 改正法では、宿泊料は定額支給方式から宿泊地の都道府県ごとに定められた上限付きの実費支給方式に改正されることとなっており、本市の規定の改正に当たっても参考になるものと考えている。今後公布される予定の財務省令や他の類似団体の取り扱いも参考に検討していきたい。

質問 もてなし広場にステージを設置するイベントは、まちの活性化に大きく寄与しており、常設ステージの設置も検討すべきと考えるが、仮設ステージを設置するイベントの年間の開催件数は。

答弁 もてなし広場に仮設ステージを設置して開催されるイベントは、高崎まつり、たかさき雷舞フェスティバルやたかさき太鼓祭りなど、年間で10件程度と把握している。

質問 中小企業の経営環境は厳しさを増すものと推察するが、経営状況や課題についてどのように捉えているのか。

答弁 中小企業の経営状況については、金融機関との意見交換や景況レポート等により把握に努めており、全体的に先の見通しが不安な状況が続いていることを確認している。経営課題としては人手不足や仕入先からの値上げ要請などが報告されており、人材確保や価格転嫁、物価高騰などが特に大きな課題と考えている。

質問 中小企業や地域経済の振興をより強めるため、商業振興条例を見直す考えは。

答弁 本市としては、地域経済情勢の状況に応じた施策を条例等にとらわれず実行していく必要があると考えているため、本条例は見直さず、理念的なものと位置付け、情勢に合った施策を速やかに実行できるよう努めていきたい。



根岸 赴夫 (新風会)



金子 和幸 (日本共産党)



中島 輝男 (市民クラブ)



青木 和也 (新風会)

ワクチン接種の是非

高崎市第2次地球温暖化対策実行計画

豪雨 対策

堤ヶ岡飛行場跡地の活用